



うちどくしましょ！

安堵町秋の読書活動推進強化週間

10月／22日～11月／9日

「うちどく」ってなあに？

「家読（うちどく）」とは、家族で読書の習慣を共有することです。家読のやり方に決まりはありません。家族一緒になって読書を楽しむ時間を過ごして、読んだ本について話をするということを基本としています。

「うちどく」ってどうするの？

1. 家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう。

毎月1回、毎週1回など無理なく続けられそうな日を設定して、はじめてみましょう。

2. 我が家の家読スタイルを話し合って決めよう。

たとえば、家族で同じ本を読む、それぞれの本をそれぞれのペースで読む、大人が子どもに読み語りをする、子どもが大人に読み語りをする、1冊の本を順番で音読する、読んだ本について感想を述べ合う、「うちどくノート」に感想を書く、ハウツー本を家読し、実際に家族で（料理・折り紙・昔遊び等）作ってみる、などスタイルはさまざま・・・

3. 家族で話し合って読む本を決めよう。

この機会に学校の町の図書室から我が家の家読スタイルに合った本をえらびましょう。（※期間中、安堵町図書室でも「うちどくコーナー」でおすすめの本を紹介します。）絵本での「うちどく」をスタートすることをお勧めです。

4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。

電子音のない静かな秋の夜長を家族で読書にいそしむ空間と時間を演出してみませんか。

5. 年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。

たとえば、子どもを抱いて・・・膝に座らせて・・・同じテーブルを囲んで・・・

6. 我が家の家読の記録を残そう。

うちどくノート・うちどくボード・うちどくカレンダーなどつくってみませんか。

7. 家庭文庫を作ろう。

家庭文庫が、わが家の読書歴史に！読んでほしい本をいつも子どもの目に触れさせることにもなります。

8. 図書館に行こうデーをつくろう。

親子で時間を共有しながら、図書館だけでなく、本屋さんにも一緒に出かけましょう。いろいろな本に出会えます。安堵町図書室では、10月22日～11月10日の期間、特別貸出（1人10冊まで3週間借りることができます。）を実施しています。

安堵町子ども読書推進担当者会【連絡先】安堵町教育委員会0743-57-2033